

映像を楽しく学んで、社会貢献! かわさきキネマサークルの取組

互いの長所を活かし合ってスキルアップ

かわさきキネマサークル(以降「同会」と略します)は、「映像を楽しく学んで、社会貢献!」を理念にして活動する映像制作のボランティア・グループです。

同会は、2010(H22)年4月、NPO法人かわさきムーブアート応援隊が川崎市教育文化会館主催の映像編集講座受講者に呼びかけ、小学校映像制作授業のボランティア・スタッフとして設立しました。「かわさき市民ニュース」自主制作や区の提案事業などの受託映像制作も開始し、2014(H26)年5月、規約や体制を構築し同会として独立しました。互いの長所を活かし合いスキルアップしながら楽しく活動しており会員は22名です。(2018年8月現在)

主な活動内容

取材した8月20日の定例会では、前半に事業報告や撮影計画などの調整、後半に会員の作品(小沢



▲ 上映会

城址・夏祭りの神輿・自然百景)を上映し、意見や感想を述べあっていました。



▲ 東 信一郎さん

同会代表の東信一郎さんから会の活動について伺いました。同会の活動の柱は、①市民による記録映像「かわさき市民ニュース」「かわさきビューティフル!」自主制作 ②市・区、団体からのソーシャルビジネスを中心とした受託映像制作 ③小学校映像制作授業サポートや講習会などで、「映像のまちづくり」に貢献 ④福祉目的の出張上映やホームページ配信などの情報発信活動 ⑤勉強会、撮影会、発表会、定例会などのサークル活動です。

会員のみなさんから

会員の佐藤昌孝さんは、今年の2月、かわさきPR映像コンテスト「ストーリー部門」でグランプリを受賞しました。作品「大きな空が好き 多摩川の四季」は、川崎市のPR映像として使用されています。アナウンサーの鈴木よしえさんは、結婚式の司会を依頼されたことがきっかけで同会とかかわり、現在、動画編集をして



▲ かわさき PR 映像コンテスト
グランプリ作品

いるとのこと。また、横浜から通っている関東雄さんは、定例会の後の仲間との語りを楽しみにしていると話します。

【かわさき市民ニュース】Webで公開

かわさき市民ニュース 検索

<http://kcn.minibird.jp/>



▲ かわさき市民ニュース

市民の手で、市民の目線で、川崎の「今」を動画で記録しており、川崎のニュースと美しいシーンを配信し、後世へ残すために「蓄積」をしています。

この8年間の動画の制作・公開本数265本。全て川崎市に關係するニュースや区との課題解決のための協働推進事業などです。

作品数【2018年9月現在】

「かわさき市民ニュース」	181本
「かわさきビューティフル!」	45本
「映像制作(企画・依頼による)」	39本

今後の予定

- 今後の新たな取り組みとして、
- ①組織基盤強化助成の内容・主催映像制作ワークショップ(講師はプロの映画監督)
 - ②企画・脚本、ナレーション勉強会(講師はプロ)
 - ③来年ニュース200本、公開動画計300本になるので、記者発表
 - ③HPメンテ、広報強化(SNS)などの検討

成果と課題

東さんからは、「川崎の映像アーカイブ」として実績があり、評価されていると思います。「動画制作の主役は60代~80代で生涯学習にもマッチしており、自分のペースで、自己実現と共に地域参画・社会貢献ができるよさがある」と話します。

同会の維持・推進のための課題としては会員の高齢化と減少のため、今後、長く活動を継続させるためにも会員を増やし、若返り(リーダー含め)を図りたいと話します。同会は会員募集中ですので、どうぞ、ご連絡ください。

映像制作仲間、募集中です!
映像に興味のある方、
ぜひ一緒に活動しましょう。

■ 問合せ 東 信一郎さん TEL 090-5427-8852